

<p>研究テーマ</p>	<p>Web サイト運用に関する研究 ～第1報：Web サイト運用の明確化～</p>
<p>学 生 名</p>	<p>山崎歩惟</p>
<p>1. 緒言</p> <p>Web サイトは企業や店舗にとって、新たな顧客獲得や諸費・サービスの販売を増やすための重要なファクターと成り得る可能性を秘めている。これは、企業に限ったことではなく、学校やクラブにも当てはまることである。しかし、個人に権限が委ねられている研究室や部活については、十分な管理がされていないのが現状である。</p> <p>本研究では、この問題を解決するために Web サイト運用の明確化を行う。</p> <p>2. Web サイトの運用マネージメント</p> <p>2.1 Web サイト運用の基本方針</p> <p>Web サイトの運用は、継続的な更新を行いながら、時代のニーズにあった Web サイトを構築していくことが重要となる。そこで、本 Web サイトにおいては、PDCA を用いた継続的な更新を実現する。</p> <p>2.2 PDCA を用いたサイト運用</p> <p>最初から大きな規模でサイトの構築を行った場合、情報が煩雑となる上、更新が滞る恐れがあるため、適用ユーザは重要なユーザから順に実装していき PDCA を実現する⁽¹⁾。</p> <p>3. Web サイトの方針</p> <p>Web サイトの方針を決める上で、以下の 5 つを明確化する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織目標 ・運用方針 ・Web サイトの役割 ・ターゲットユーザ ・Web サイトの目的 <p>本研究室およびロボット製作部のビジネスツールを Figure 1 に示す。今回は、ターゲットユーザを以下の 3 つに限定する。なお、組織目標等について本年度の二宮綾香の論文にて述べているため、ここでは割愛する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究室選びのための弓削商船情報工学科 4 年生及び電子機械工学科 4 年生 ・新入部員獲得のための新入生 ・広報を兼ねた情報交換のための外部ロボコン参加チーム 	<div data-bbox="933 474 1300 772" data-label="Diagram"> </div> <p>Fig. 1 Business tool</p> <p>4. ユーザニーズの明確化</p> <p>3 のターゲットユーザを基にユーザニーズの明確化を行い、以下の 3 つの作業を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用ユーザの範囲確定 ・ユーザ導線の明確化 ・制作コンテンツの確定 <p>5. Web サイトの構築</p> <p>4 の制作コンテンツを基に、Web サイトの設計、ユーザ導線の検証を経て、レンタルサーバを設置し、コンテンツを実装した (Figure 2)。</p> <div data-bbox="810 1272 1423 1639" data-label="Image"> </div> <p>Fig. 2 Example of a website</p> <p>6. 結言</p> <p>本研究では、Web サイトの運用を明確化し、ロボット製作部の Web サイトを構築した。今後は、PDCA による Web サイトの運用を行うとともに、研究室の Web サイトも設計していく予定である。</p> <p>文献</p> <p>(1) 生田昌弘, 上地安親, 斉藤千寿, アクセス解析からはじめる Web サイト運用成功の法則, ソフトバンククリエイティブ株式会社, pp.1-115</p>